



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 近畿車輛株式会社

コード番号 7122 URL <http://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森下 逸夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部 経理部長

(氏名) 山本 隆彦

TEL 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	13,870	79.2	△1,469	—	△1,328	—	△1,803	—
26年3月期第3四半期	7,742	△57.1	△2,102	—	△1,953	—	△1,271	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △64百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 177百万円 (△77.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△26.20	—
26年3月期第3四半期	△18.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	52,675	30,183	57.3	438.44
26年3月期	50,423	30,263	60.0	439.58

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 30,183百万円 26年3月期 30,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(平成27年2月4日)公表いたしました「配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	66.4	△3,000	—	△2,800	—	△3,000	—	△43.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

詳細は、4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	69,083,597 株	26年3月期	69,083,597 株
27年3月期3Q	241,128 株	26年3月期	237,423 株
27年3月期3Q	68,844,534 株	26年3月期3Q	68,849,586 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続については実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
4. 補足情報	P. 11
生産、受注及び販売の状況	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループ(当社及び連結子会社)における業績は、売上高が138億7千万円(前第3四半期連結累計期間売上高77億4千2百万円)と前年同期に比べ61億2千8百万円の増収となりましたが、営業損失は14億6千9百万円(前第3四半期連結累計期間営業損失21億2百万円)となり、経常損失は13億2千8百万円(前第3四半期連結累計期間経常損失19億5千3百万円)、四半期純損失は18億3百万円(前第3四半期連結累計期間四半期純損失12億7千1百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

国内向車両の西日本旅客鉄道株式会社向W7系北陸新幹線電車等により、売上高は132億7千8百万円(前第3四半期連結累計期間売上高71億6千5百万円)となり、営業損失は12億2千万円(前第3四半期連結累計期間営業損失17億9千8百万円)となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は5億9千2百万円(前第3四半期連結累計期間売上高5億7千6百万円)となり、営業利益は5億1千万円(前第3四半期連結累計期間営業利益4億9千3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は526億7千5百万円(前連結会計年度末504億2千3百万円)と22億5千1百万円の増加となりました。流動資産は主にたな卸資産の増加により、359億3千2百万円(前連結会計年度末358億2百万円)と1億2千9百万円の増加となりました。固定資産は主に投資有価証券の時価の上昇により、167億4千2百万円(前連結会計年度末146億2千1百万円)と21億2千1百万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は224億9千2百万円(前連結会計年度末201億6千万円)と23億3千1百万円の増加となりました。流動負債は主に買掛金の増加により、171億7千7百万円(前連結会計年度末155億6千万円)と16億1千6百万円の増加となりました。固定負債は53億1千4百万円(前連結会計年度末45億9千9百万円)と7億1千4百万円の増加となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は301億8千3百万円(前連結会計年度末302億6千3百万円)と8千万円の減少となりました。その主な要因は四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年11月6日発表の「決算短信」に記載致しました業績予想を下記のとおり変更しております。

(通期連結業績予想)

平成27年3月期通期 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	24,000	△3,600	△3,400	△3,200
今回発表予想 (B)	22,000	△3,000	△2,800	△3,000
増減額 (B - A)	△2,000	600	600	200
増減率 (%)	△8.3	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	13,219	△4,616	△4,462	△5,914

(修正理由)

主にロサンゼルス郡都市交通局向け車両案件の生産工程の調整により、予定していた売上の一部が来期にずれ込む見込みとなったため、売上高は前回 (平成26年11月6日) 発表予想を下回る見込みです。しかし、同案件の初期コストの低減が見込まれるため受注損失引当金を取崩したことにより、営業利益、経常利益、当期純利益は前回発表予想を上回る見込みです。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が14百万円増加し、利益剰余金が14百万円減少しております。また、これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,202	12,069
受取手形及び売掛金	3,793	3,894
仕掛品	10,026	17,487
原材料及び貯蔵品	546	853
その他	1,243	1,635
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	35,802	35,932
固定資産		
有形固定資産	7,588	7,902
無形固定資産	96	88
投資その他の資産		
投資有価証券	5,948	7,961
その他	1,048	859
貸倒引当金	△61	△69
投資その他の資産合計	6,936	8,751
固定資産合計	14,621	16,742
資産合計	50,423	52,675
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,314	5,699
未払法人税等	15	16
前受金	7,531	7,882
賞与引当金	301	118
製品保証引当金	196	158
受注損失引当金	2,561	1,546
その他	1,639	1,755
流動負債合計	15,560	17,177
固定負債		
退職給付に係る負債	2,336	2,377
その他	2,263	2,936
固定負債合計	4,599	5,314
負債合計	20,160	22,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	21,134	19,316
自己株式	△97	△98
株主資本合計	29,414	27,595
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,428	2,725
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	42	318
退職給付に係る調整累計額	△622	△456
その他の包括利益累計額合計	848	2,587
純資産合計	30,263	30,183
負債純資産合計	50,423	52,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	7,742	13,870
売上原価	7,628	12,885
売上総利益	113	985
販売費及び一般管理費	2,216	2,454
営業損失(△)	△2,102	△1,469
営業外収益		
受取利息	18	13
受取配当金	102	111
為替差益	72	12
雑収入	28	24
営業外収益合計	221	162
営業外費用		
支払利息	0	-
固定資産撤去費	37	4
支払補償費	-	15
雑支出	34	1
営業外費用合計	72	21
経常損失(△)	△1,953	△1,328
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,953	△1,328
法人税、住民税及び事業税	5	21
法人税等還付税額	△16	-
法人税等調整額	△670	453
法人税等合計	△682	475
四半期純損失(△)	△1,271	△1,803

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,271	△1,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	393	1,297
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	1,050	275
退職給付に係る調整額	-	165
その他の包括利益合計	1,448	1,739
四半期包括利益	177	△64
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177	△64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	7,165	576	7,742	—	7,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1	△1	—
計	7,165	578	7,743	△1	7,742
セグメント利益又は損失(△)	△1,798	493	△1,305	△797	△2,102

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△797百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△797百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
5,328	1,831	414	168	7,742

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……………アメリカ合衆国
- (2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国
- (3) アジア……………中華人民共和国(香港)、アラブ首長国連邦

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	13,278	592	13,870	—	13,870
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	13,278	593	13,871	△0	13,870
セグメント利益又は損失(△)	△1,220	510	△709	△759	△1,469

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△759百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△759百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
7,776	4,845	887	361	13,870

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、アラブ首長国連邦

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	21,306	164.3
合計	21,306	164.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	23,051	43.3	120,606	128.4
合計	23,051	43.3	120,606	128.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	13,278	185.3
不動産賃貸事業	592	102.7
合計	13,870	179.2

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上